

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	10-	1	
事業名	高齢者福祉事業	会計	款	項	目
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	3	1	2
施策	3-3 高齢者福祉の推進	課名	健康長寿課		
		係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	介護保険サービスを補足する形で提供するサービスなどを推進し、たとえ介護が必要となっても高齢者が住み慣れた自宅で生活できるような体制を構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる。
事業内容	緊急通報業務・・・一人暮らし高齢者等で発作を生じる持病がある方に緊急通報装置の設置を行う。 シニアクラブ補助事業・・・地域の高齢者による相互支援活動等に対し助成する。 シルバー人材センター補助事業・・・高齢者の社会参加の促進、生きがい就労への支援を行う。 ホームケア事業・・・在宅寝たきり高齢者等に対し、おむつ代等の助成を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	シルバー人材センター会員で仕事をしている登録者数	291				人	↑
2								
3								
4								
5								
6								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			28,062		25,848		69,705	
財源内訳	直接事業費 A		23,772		22,218		67,725	
	うち一般財源		23,772		22,218		67,725	
人件費 (千円) B			4,290		3,630		1,980	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.65	4290	0.55	3630	0.3	1,980
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	補助金については、決定した方向性に基づき令和3年度から見直しを行う。 また、高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に沿って、高齢者福祉事業を精査、見直し検討する。	③取組の課題	75歳以上の後期高齢者の増加がピークを迎えるため、高齢者福祉事業の早急な見直しが必要となる。
②R3年度に実施した取り組み	補助金については、前年度に決定した方向性に基づき執行した。高齢者福祉事業については第8期介護保険事業計画に沿って見直し検討を開始した。	④今後の改善計画	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に沿って、引き続き高齢者福祉事業を精査、見直し検討する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	2
事業名	介護保険特別会計繰出金	会計	款	項	目
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	3	1	2
施策	3-3 高齢者福祉の推進	課名	健康長寿課		
		係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	高齢者がいつまでも元気でいきいきとした生活を続けることができる。
事業内容	配食サービス事業・・・ひとり暮らし高齢者等の家庭に昼食弁当を配達すると共に、安否確認を行う。 介護保険料徴収事務・・・介護保険料の納付書、督促状、催告書の発送。 家族介護支援事業・・・介護に携わる方に一時的に介護の場から離れる機会を作ることで身体的及び精神的負担を軽減する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1	65歳以上要介護認定率	11.1			%	→	12.48
	2	健康寿命の年齢 (男性)	81.6			歳	↑	79.9
	3	健康寿命の年齢 (女性)	84.4			歳	↑	83.2
	4	地域ボランティアポイント制度登録者数	89			人		130
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			347,436		278,003	289,021		
財源内訳	直接事業費 A		327,636		265,793	271,219		
	うち一般財源		327,636		265,793	271,219		
人件費 (千円) B			19,800		12,210	17,802		
内訳	一般職員 (人・千円)		3	19800	1.85	12210	2.67	17,622
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0.1	180

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、計画的に事業を推進する。配食サービスについては、引き続き、必要性、対象者など社会情勢に応じた見直しの検討が必要である。	③取組の課題	団塊の世代が75歳以上となる2025年問題に加え、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年も見据えた取り組みが必要となる。
②R3年度に実施した取り組み	令和3年度から5年度を計画期間とする高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、事業を推進した。	④今後の改善計画	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、計画的に事業を推進する。配食サービスについては、引き続き、必要性、対象者など社会情勢に応じた見直しの検討が必要である。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	3
事業名	在宅医療・介護連携推進事業（介護特会）	会計 特会	款 3	項 3	目 5
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施策	3-3 高齢者福祉の推進	係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的（対象がどのような状態になっているか）	医療・介護・福祉の連携を図り、在宅医療の必要性や課題を検討する協議会を設置し、在宅医療を中心とした地域で包括的にケアを行うシステムを構築する。医療・介護・福祉等のネットワークを築き、在宅支援のシステムを構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療・介護の資源の把握・・・「在宅医療・介護リスト」を作成し、他職種の連携強化を図る。 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援・・・相談員を配置し、他職種の連携強化を図る。 ・地域住民への普及啓発・・・講演会、医療介護フェアなどを開催し、住民への普及啓発を図る。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			2,539		11,769		12,431	
財源 内訳	直接事業費A		229		9,129		10,121	
	うち一般財源		229		9,129		10,121	
人件費（千円）B			2,310		2,640		2,310	
内訳	一般職員（人・千円）		0.35	2310	0.4	2640	0.35	2,310
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	D国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	階層別連携コーディネートにより『連携』から『協働』へと重層的に事業を進化させるとともに、『人生会議（ACP）』を取り入れた住民啓発を図る。	③取組の課題	・医療・介護専門職が安全かつ安心して研修会に参加できる環境づくりが必要。
②R3年度に実施した取り組み	コロナ感染症拡大のため、医療・介護専門職の現場がひっ迫する中で、オンラインを活用した、研修会や会議、映画上映など工夫し実施することができた。また、コロナ関連の研修会を開催することができた。	④今後の改善計画	・医療・介護専門職に向けてコロナ感染症に対応した事業を実施する。 ・『ACP』を取り入れた専門職への研修会及び住民への普及啓発を実施する。 ※今後もいなべ市と協働で事業を実施する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	4
事業名	生活支援体制整備事業（介護特会）	会計 特会	款 3	項 3	目 5
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施策	3-3 高齢者福祉の推進	係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 地域住民、NPO、事業者等	目的（対象がどのような状態になっているか）	生活支援コーディネーターを配置するとともに、協議体を設置し、高齢者を支える地域の支えあいの体制づくりを推進する。さらには、各地域において元気な高齢者をはじめ、住民主体の活動やNPO、民間企業等多様な主体による、高齢者の日常生活を支援する多様なサービスの提供体制を構築することにより、高齢者が活躍する街づくりができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置・・・社会福祉協議会へ委託し2名配置。 協議体の設置・・・生活支援体制整備事業の推進に必要な事項を提案し協議する。 地域支えあい活動支援事業・・・支えあい活動団体に対し、立ち上げ軽費を補助する。 		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
指標	1	住民主体による介護予防・地域支えあい活動登録団体数	27			団体	↑	24
	2	地域支えあい活動登録団体数	17			団体	↑	28
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			7,950		8,037		8,564	
財源 内訳	直接事業費A		6,960		6,915		7,772	
	うち一般財源		6,960		6,915		7,772	
人件費（千円）B			990		1,122		792	
内訳	一般職員（人・千円）		0.15	990	0.17	1122	0.12	792
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの地域で担い手となる人材の発掘、育成を行う。居場所づくりから生活支援など次へのステップに進める取り組みを検討し、推進する。	③取組の課題	地域主体で取り組みを進める必要があるため、時間を要する。
②R3年度に実施した取り組み	生活支援コーディネーターを中心に地域の取り組みに対し支援を行った結果、コロナ禍による制約があったものの、居場所づくりや地域での支えあい活動が広がりがつつある。	④今後の改善計画	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの地域で担い手となる人材の発掘、育成を行う。また、地域支えあいの深化をより推進するため、生活支援コーディネーターの効果的な活動圏域設定について検討する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	10-	5	
事業名	認知症総合支援事業（介護特会）	会計 特会	款 3	項 3	目 7
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施策	3-3 高齢者福祉の推進	係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的（対象がどのような状態になっているか）	認知症の人とその家族を支えるため、地域の医療機関をはじめ、地域の関係機関と連携した体制を構築することにより、住民誰もが認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援・・・地域包括支援センターに設置した「認知症初期集中支援チーム」により、認知症（疑いを含む）の人や家族への早期対応・早期支援を実施する。 認知症カフェ・・・認知症の人の家族に対する支援の推進としてカフェを開催する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	認知症サポーター養成講座受講者数	5438				人	↑
2	見守り協定企業数	5				事業所	↑	10
3	地域見守りネットワーク協力事業所数	135				事業所	↑	140
4								
5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			14,176		11,692		14,353	
財源 内訳	直接事業費A		11,170		8,482		10,387	
	うち一般財源		11,170		8,482		10,387	
人件費（千円）B			3,006		3,210		3,966	
内訳	一般職員（人・千円）		0.33	2178	0.35	2310	0.41	2,706
	臨時職員（人・千円）		0.46	828	0.5	900	0.7	1260

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	認知症大綱に基づいた認知症カフェの開催と認知症サポーターのフォローアップ研修を実施する。	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ認知症への偏見がある。 認知症ステップアップ講座受講生が主体的に活動するための支援。
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> より深く認知症を理解し、地域の理解者として活動するための認知症サポーターステップアップ講座を開催した。 地域包括支援センターとの連携強化のためのテーブルミーティングの開催。 CATVでの認知症普及啓発 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への普及啓発 ステップアップ講座受講生への活動支援。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	10-	6
事業名	感染症予防事業費	
会計	款	項 目
一般	4	1 2
政策	1 健康であるために	
課名	健康長寿課	
施策	1-1 健康づくりの推進	
係名	健康づくり係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	事業所、学校等で、感染症（結核）に係る定期的健康診断を受けることができない者（主に65歳以上の住民）	目的（対象がどのような状態になっているか）	感染症（結核）の早期発見及びそのまん延を防止する。
事業内容	・65歳以上の高齢者を対象に地域を巡回して結核検診を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			25,960		10,138		9,593	
財源内訳	直接事業費A		20,770		4,948		5,123	
	うち一般財源		20,770		4,948		5,123	
人件費（千円）B			5,190		5,190		4,470	
内訳	一般職員（人・千円）		0.65	4290	0.65	4290	0.65	4290
	臨時職員（人・千円）		0.5	900	0.5	900	0.1	180

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	引き続き地域を巡回する形での検診を実施する。	③取組の課題	結核予防法に基づく事業を実施。
②R3年度に実施した取り組み	感染症対策を実施したうえでの巡回検診を実施。	④今後の改善計画	感染症対策を実施したうえでの巡回検診を実施する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	7
事業名	成人予防接種事業費	会計	款	項	目
政策	1 健康であるために	一般	4	1	2
施策	1-1 健康づくりの推進	課名	健康長寿課		
		係名	健康づくり係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づき定期接種を実施する。 ・長期の入院等やむを得ない理由で、委託外医療機関で予防接種をした方に、委託単価相当額を助成する。 ・任意接種として高齢者肺炎球菌ワクチン・高齢者インフルエンザ接種費用の一部を助成する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				23,429	20,725			26,332
財源内訳	直接事業費 A			21,239	17,743			23,662
	うち一般財源			21,239	17,743			23,662
人件費 (千円) B				2,190	2,982			2,670
内訳	一般職員 (人・千円)		0.25	1650	0.37	2442	0.35	2310
	臨時職員 (人・千円)		0.3	540	0.3	540	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	定期接種 (風しん追加的対策) の未受診者勧奨を継続する。	③取組の課題	・風しん5期の接種者が少ない。
②R3年度に実施した取り組み	風しん5期の未接種者への個別通知を実施した。	④今後の改善計画	・風しん5期について、次年度も事業が継続となったため、未接種者への個別通知を実施する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	10-	8
事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	
会計	款	項
一般	4	1
課名	健康長寿課	
係名		

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
政策	1 健康であるために
施策	1-1 健康づくりの推進

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	新型コロナウイルスワクチンを円滑かつ早期に接種する体制を確保することにより、希望する全ての住民がワクチンの接種を受けることができる。
事業内容	・希望する全ての住民が円滑かつ早期に新型コロナウイルスワクチンの接種を受けることができる体制を確保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				7,640	192,624		71,034	
財源内訳	直接事業費 A			4,340	170,184		59,784	
	うち一般財源			0	0		0	
人件費 (千円) B				3,300	22,440		11,250	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.5	3300	2.8	18480	1.65	10890
	臨時職員 (人・千円)		0	0	2.2	3960	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	高齢者接種終了後は接種体制を見直し、接種の加速化を図る。	③取組の課題	国の接種計画等が随時見直されるため、その都度体制や予算確保等が必要となる。
②R3年度に実施した取り組み	国の接種計画に合わせ、希望する全ての住民がワクチン接種を受けることができるよう体制の確保に努めた。	④今後の改善計画	国の接種計画に合わせ、希望する全ての住民がワクチン接種を受けることができるよう体制の確保に努める。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	10-	9	
会計	款	項	目
一般	4	1	3
課名	健康長寿課		
係名	健康づくり係		

事業名	健康づくり推進事業費
政策	1 健康であるために
施策	1-1 健康づくりの推進

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	健康教育、保健指導を実施し、住民の健康水準の向上を図り、豊かな生活を送ることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 東員町食生活改善推進協議会へ委託し、栄養改善事業を実施する。 歯周病の予防を目的に歯科衛生士による「歯周病予防教室」を実施する。 糖尿病について、その予防方法等の知識の普及・啓発を図るため、「糖尿病予防教室」実施する。 医師又は精神保健福祉士によるこころの相談窓口を開設するとともに、自殺予防対策、こころの健康づくりを目的に、専門家による講演会を実施する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	健康づくりポイント事業の応援カード発行数	2			枚		35
	2	各種生活習慣病予防教室行動変容率	70.0			%		100
	3	自殺率	0.197					0.192
	4	定期的な運動をしている住民の割合	—			%		↑
	5	バランスのとれた食生活を続け居ている	—			%		↑
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				5,705	4,643		10,095	
財源内訳	直接事業費 A			1,103	701		5,883	
	うち一般財源			1,103	701		5,883	
人件費 (千円) B				4,602	3,942		4,212	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.67	4422	0.57	3762	0.42	2772
	臨時職員 (人・千円)		0.1	180	0.1	180	0.8	1440

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	今後も、糖尿病の予備軍は多いため、保健事業 (国保、後期高齢、介護) のデータを活用しながら、ハイリスク者の把握を行い、個別支援につなげる取り組みを実施する。	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病予備軍は増加し、医療費も年々増加しているため取り組みが必要。 健診精検未受診者が多い。
②R3年度に実施した取り組み	コロナ感染症拡大のため、開催できなかった事業もあった。「糖尿病予防教室」は感染対策を講じたうえで、実施し重症化を予防することができた。中学生に対し、こころの健康講座を開催した。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き糖尿病予防教室など生活習慣を見直すための事業を継続的に実施する。 健診精検者への受診勧奨。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	10		
事業名	救急医療等運営費			会計	款	項	目
政策	1 健康であるために			一般	4	1	3
施策	1-2 地域医療体制の確保			課名	健康長寿課		
				係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	医療機関と連携した医療体制の充実を図り、地域で安心な医療が受けられることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 中核的医療の役割を担う公的病院の24時間救急医療体制を堅持するための運営経費や、救急医療情報システムに係る経費を一部負担する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	町の医療体制についての満足度	-			%		↑	
2	かかりつけ医を持っている町民の割合	-			%		↑		
3	町内の病院を使う町民の割合	-			%		↑		
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			12,928		13,237		12,728		
財源内訳	直接事業費 A		11,566		12,115		12,002		
	うち一般財源		11,566		12,115		12,002		
人件費 (千円) B			1,362		1,122		726		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.16	1056	0.17	1122	0.11	726	
	臨時職員 (人・千円)		0.17	306	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	引き続き、関係機関と連携し、地域医療機関への支援を行う。	③取組の課題	引き続き、関係機関と連携し、地域医療機関への支援を行う。
②R3年度に実施した取り組み	関係機関と連携し、地域医療機関への支援を行った。	④今後の改善計画	引き続き、関係機関と連携し、地域医療機関への支援を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	11
事業名	保健師活動経費	会計	款	項	目
政策	1 健康であるために	一般	4	1	3
施策	1-1 健康づくりの推進	課名	健康長寿課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保健師（町行政所属）	目的（対象がどのような状態になっているか）	円滑な保健活動が行える。 保健師としての資質を向上させる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 研修の実施により、保健師の資質向上を図る。 健康づくり推進のため、いなべ医師会や桑員歯科医師会に対し、保健業務に関する委託を行う。 保健活動に必要となる事務的経費を計上する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				4,694	2,986		2,326	
財源内訳	直接事業費A			1,394	1,270		1,534	
	うち一般財源			1,394	1,270		1,534	
人件費（千円）B				3,300	1,716		792	
内訳	一般職員（人・千円）		0.5	3300	0.26	1716	0.12	792
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	引き続き、保健師全員での検討、研修を実施し、意識の共有を図っていく。	③取組の課題	・保健師全体としての質の向上が必要。
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対応で研修会等は実施できなかった。 ・コロナ感染者の追跡調査のための保健所への応援を実施した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師の資質向上のための、県内外の研修会を受講。 ・実習生受入れに対する指導。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	12
事業名	検診等事業費	会計	款	項	目
政策	1 健康であるために	一般	4	1	2
施策	1-1 健康づくりの推進	課名	健康長寿課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	20歳以上の女性 40歳以上の男女	目的 (対象がどのような状態になっているか)	各種がん検診等の受診を勧奨し、疾病の早期発見・早期治療を行う。
事業内容	・対象年齢のいる全世帯に検診申込書を配布し、受診希望者を募り検診希望者には受診票を送付する。検診結果により要精密検査の方には専門機関の受診を促し、疾病を早期発見・早期治療する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1	5種のがん検診受診率	14.04			%	↑	15.50
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			34,007		32,947		35,481	
財源内訳	直接事業費 A		27,977		29,557		32,631	
	うち一般財源		27,977		29,557		32,631	
人件費 (千円) B			6,030		3,390		2,850	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.75	4950	0.35	2310	0.2	1320
	臨時職員 (人・千円)		0.6	1080	0.6	1080	0.85	1530

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	女性のがん検診について、個別検診の対象を広げる方向を検討する。	③取組の課題	現時点では、課題なし。
②R3年度に実施した取り組み	コロナ感染症対策を講じたうえで、すべての検診を実施した。	④今後の改善計画	引き続き、コロナ感染症対策を講じたうえで検診を実施する。